

《平成27年度 関町北小学校の教育に関するアンケート》

A . 回収状況について

児童数 566 家庭数 471 回収数 291 回収率 62 %

B . プロフィールの集計結果について 別紙をご覧ください。

〔4 かなり満足 3 少し満足 2 少し不満 1 かなり不満〕 無回答については、合計数に含めています。
印刷の関係で、円グラフとしては見にくくて申し訳ございません。数字でご確認ください。なお、ホームページにはカラーの資料を掲載しております。よろしければ、ホームページにてお確かめください。

C . 来年度の学校の教育活動等について

既に、PTA役員会、PTA運営委員会では説明させていただきましたが、あらためて、変更点や来年度の方針等について報告させていただきます。以下、順不同です。

1 学校行事について

音楽発表会について

・今年度までは音楽朝会で各学年の発表を行ってきましたが、これを「音楽発表会」としてまとめて、保護者にも聴いていただくようにします。ただし、来年度は第1回目なので、現状では、音楽専科が担当している4～6年の3学年の音楽を聴いていただくことを中心に検討しています。また、名称は今のところ「音楽発表会」となる見込みです。この「音楽発表会」は、展覧会を行う年度に実施することにしました。

展覧会や学習発表会の今後について

これまでのような形で学習発表会を開催すると、ある年度には4年生で演劇を行って、5年生、6年生では演劇をしないまま卒業を迎えるという学年が生じます。学年の教育活動として、一つの舞台・演劇を一学年の児童が心と力を一つに結集させて創り上げていく過程で得られる、新しい自分への気付き、協調性と責任感、想像・創造の楽しさ、連帯感や一体感、満足感や達成感等々の教育的な効果を高めるためには、高学年でも演劇ができるようにする意義は高いと考えました。そこで、展覧会と学習発表会のサイクルを、上記の音楽発表会の開催とあわせて変更することにいたしました。具体的には、以下の通りとなります。なお、名称は今後検討していきますが、仮に学習発表会を「学芸会」としてあります。この学芸会では、全ての学年が演劇を行うことを基本としています。これまでのような1・3・5年の音楽的な発表は、「音楽発表会」に移行されます。

- ・平成28年度は、展覧会と音楽発表会
- ・平成29年度は、学芸会のみ〔名称は変更する予定〕
- ・平成30年度は、展覧会と音楽発表会
- ・平成31年度は、学芸会のみ 但し、開校60周年記念式典があります。
- ・平成32年度は、展覧会と音楽発表会
- ・平成33年度は、学芸会のみ

少なくとも同じサイクルで3回やってみて、その教育的な効果を検証していきたいと思っています。

2 オリンピック・パラリンピック教育の推進について

・今般、東京都内の全ての学校で実施することになりました。今後、配当される予算の中でできることを実施していきます。なお、本校が交流する国として、オーストラリア連邦、コソボ共和国、レソト王国、イラン・イスラム共和国が指定されました。

3 算数検定について

- ・来年度から、子どもたちの算数の学習に対する意欲を高めるための一助とするために、算数検定を実施することにいたしました。初年度なので、春から夏にかけて1回、冬に1回、あわせて年間2回の実施を考えています。日程が決まりましたら、4月の保護者会でお伝えいたします。また、運営面については、漢字検定のように、保護者のボランティアもお願いしたいと思っておりますので、その折りには、ご協力をお願いいたします。なお、漢字検定は今年度並みに実施いたします。

4 夏季水泳における「すぐメール」による連絡

- ・どのようにすれば混乱しないか、今後、検討を重ね、工夫していきたいと考えています。

5 仮設建築物(東校舎)の今後について

- ・3月中には練馬区としての方針が決まるということですので、早ければ4月の保護者会の場で報告することができるのではないかと考えています。すでに、練馬区としては「やがて撤去する方針であること」はプレス発表しております。

6 お子様の登校時刻について

- ・本校では、朝の職員打合せを行わず、全ての学級で担任が子どもたちの登校を迎えることを原則としています。それが、子どもたちの一日の生活を安定して始められる要諦であると考えからです。また、子どもたちが早起きをして、規則正しい生活リズムで学校生活を営むことができているのは、ご家庭のご協力があればこそ感謝しております。その一方、子どもたちの登校の状況を見ますと、8時00分から8時15分までに登校すればよいとしていますが、殆どの児童が8時のチャイムが鳴るころに登校しており、学級によっては、担任の出勤よりも早く児童が入室していることも見られます。また、8時前に登校している児童の安全面については、学校全体の活動、学年・学級の授業準備、環境整備等々のために早い時刻に出勤している教員が見守ってきました。この状況は、早起きを含めて、子どもたちの生活習慣のリズムが整っていることの表れですが、担任が教室で子どもたちの登校を迎えるよりも早く子どもたちが教室に入るとは、安全面を考えると必ずしも望ましいこととは言えない面もあります。そこで、校外委員会の皆様のお話も伺い、現行8時00分に鳴るチャイムを8時10分に移動すれば、全ての学級で、担任が児童を迎えられる体制を整えることができるのではないかと考えました。そこで、ご家庭には、子どもたちが8時のチャイムに間に合うように登校するのではなく、8時10分を目標に登校できるように、今の早起きの習慣は変えずに、ご家庭を出発する時刻のみ少しご配慮いただければ有難く存じます。お仕事に就かれている保護者の方には、朝の10分は大きいということは重々理解しておりますが、各担任が子どもたちの登校よりも早く教室にいて、子どもたちを迎える、これが一日の学校生活の安定につながっていくことですので、ご理解とご協力をお願いしたいと存じます。教員の勤務時間を早くすればいいというお考えもあるかもしれませんが、遠距離通勤の教員、介護や子育てをしている教員などもおり、また、放課後の勤務のことも考慮すると、一律勤務時間を繰り上げることは難しいのが現状です。また、集団登校の時刻については、8時05分に学校に着くように、今より5分遅くなりますが、あわせてご配慮いただくと有難く存じます。子どもたちの生活リズムは早起きのまま変えることなく、朝ご飯をゆっくりとったり、学校の準備の再確認をしていただいたり、あるいは、学区内の遠い地点から通っている子には、少し気持ちの面でゆとりが出るかもしれないと考えております。なお、これによって子どもの下校時刻が遅くなるということではなく、一日の生活時程の中で配慮いたしますので、ご安心ください。生活時程の詳細は、4月の保護者会でお伝えします。以上をまとめますと、今よりも10分チャイムが遅く鳴ることに対して、

お子さんの出発を見送ることができるご家庭

8時10分に学校に着くように自宅を出発させていただければ有難く存じます。

お子さんを見送ることができないご家庭〔保護者が我が子より先にお仕事に出かけるご家庭〕
8時前に学校に着くことのないようにご配慮いただければ有難く存じます。
なお、8時10分までに登校した子どもたちは、各学年の昇降口で8時10分にチャイムが鳴るまで
待っていてもらうことになります。

7 イングリッシュスタッフの活動について

- ・学習指導要領の改訂により、やがて外国語活動が3年生から実施になり、担任が授業を主導することになります。外国語活動が導入された時期から、教員の指導をサポートするという形で、これまで授業に入っていたいてきましたが、本校では、ボランティアをお願いすることも増えてきており、スタッフの皆様のご負担にも配慮すべき時であると考え、今後は、学校内でも年間指導計画を見直していく中で、どの授業に、どのような形でご協力いただくかを精査し、基本的には教材の作成や環境整備などを中心にご協力いただくようにしていきたいと考えております。

8 その他

パナソニック教育財団へのICT教育への申請書は送付済みです。あとは、先方からの回答を待つということになります。

異学年交流としての「きょうだい学年」の活動は、今年度よりも交流の回数を増やししながら、さらに交流が深まるように努めていきます。

区職の用務主事が来年度から民間業者に委託されることになりました。業者は「日本オルウィッツ」〔練馬区高松〕に決定しましたので、ただ今、業務の引き継ぎを進めています。

来年度の主な学校行事予定については、保護者会で配付した資料の通りですが、最新のものは、4月の保護者会で改めてお知らせいたします。

石神井高校前の交差点を利用する児童の安全確保のための児童交通安全擁護員の増員申請は、来年度も継続して練馬区の担当者に行ってまいります。

春休みが近づくとつれて、電話による個人情報の聞き出しが増えることが予想されます。お子様だけでなく、祖父母の方などご家族にも十分気を付けるようにお声かけください。

年度替わりのこの時期、または、小6から中1になるときに、お子様にスマホなどを所持させる割合が高くなるという報告がされています。ご家庭におかれましては、情報機器、ゲーム機などを買い与えるときには、お子様との事前のルール作りを含め、十分話し合いをしていただきますよう、お願いいたします。インターネットによる様々なトラブルからお子様を守るためにもよろしくお願いいたします。

- 長い書面にもかかわらず、最後までお読みいただき、有難うございました。 -